

狩猟解禁

●問合先 市役所経済課 農業振興G 内線264

▼狩猟解禁期間

11月15日(土)～

平成27年2月15日(日)

狩猟期間中は、パトロー
ルや看板設置等で狩猟者に
対して注意を呼びかけてい
ますが、次のことに注意し、
危険防止に努めましょう。
・特定猟具使用禁止区域
外・鳥獣保護区域外での
散歩には十分注意する

・銃声のする場所には、原
則立ち入らない
・狩猟者は、狩猟者登録証・
記章・鉄砲所持許可証を
携帯し、オレンジ色の帽
子とベストを着用してい
ます

◎狩猟に伴う危険と思われ
る行為や事故があったと
きは、最寄りの警察に通
報してください



※鳥獣保護区域…狩猟が禁止されている区域
※特定猟具使用禁止区域…銃による狩猟が禁止されている区域

取手市医師会健康教室

今年は、代々木公園で蚊
に刺されて Dengue 熱を発症
するという事件があり、大
きな騒ぎになりました。そ
こで今回は、蚊の生態と感
染症の関係について少しお
話します。



現在の日本で感染症と
関わりの深い蚊には、ヤ
ブカ、アカイエカがありま
す。蚊は成虫と幼虫の住む
場所が、全く異なり、蚊の
幼虫(ボウフラ)は、水の
中で暮らしていますが、羽
化した成虫は木陰などに潜
み、産卵するために雌の蚊
が吸血します。雄・雌とも、
ふだんは樹液などが食物
ですが、雌は産卵のために
吸血するのです。夏場では
約2週間で卵から成虫にな
り、成虫の寿命は約1か月
です。

日本でもっとも普通に見
られるヤブカは、ヒトスジ

蚊の話

シマカ(一筋縞蚊)で、こ
れは関東地方以西では、恐
らく人が吸血される確率の
最も高い蚊であり、今回デ
ング熱を媒介したのもこの
蚊です。幼虫は、庭の水が
めや、植木鉢の水受け皿、
雨水ます、放置されたプラ
スチック容器などによく発
生しています。成虫は樹木
の木陰や灌木、低木の茂み
など、いわゆるやぶに潜ん
で吸血のチャンスを待つ、
待ち伏せ型であるため、多
くの場合、庭仕事や公園の
散歩、ハイキングなどの野
外活動中に吸血されます。
吸血を避けるにはやぶに近
づかないのが一番ですが、
やむを得ずやぶの中や近く
で活動するときは、虫よけ
の塗布や蚊取り線香の携
帯、長袖・長ズボンの着用
などが実用的で効果的な吸
血回避方法です。冬になる
とウイルスを保有する成虫
が全て死滅するため、感染
は終息します。

家屋に侵入するのが得意
で、閉めきついているつもり
でもどこからか侵入し、寝
ているときなどに吸血しま
す。水田や沼地等の大きな
水たまりに発生しますが、
成虫の飛距離は1km近くあ
り、飛んできて吸血する攻
撃型です。感染症との関係
では、日本ではコガタアカ
イエカが日本脳炎を媒介す
る中心的な蚊となっていま
す。 Dengue 熱とは異なり、
日本脳炎では豚がウイルス
を保有しているため、水田
地帯で豚の飼育が行われて
いる地域では、毎年蚊が発
生する季節になると日本脳
炎発生の危険性が高まりま
す。 Dengue 熱にはまだワク
チンはありませんが、日本
脳炎には有効なワクチンが
ありますので、きちんと受
けておくことが予防するう
えで重要です。

